



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会
連絡先
志津南市民センター
(公民館) 563-6206

自治連会議録

第1回(4月5日)
事務局長に妹尾志郎氏を選任。自治連合会会則(平成20年3月23日改訂)の周知を確認。ふれあい夏まつりを7月26日(土)に開催することを決定。各町内副会長会議を4月27日に開催、役割分担と骨子を固めた。

第2回(5月10日)
各町自主防災会の設置を草津市に届け出。5月18日地区内設備の総点検実施を決めた。夏の一齐清掃を7月13日(予備日20日)に実施することを決定。老朽化している地区内の立て看板の撤去または更新を交通防犯部会に要請。



自主防災会議で説明する西消防署員

自主防災会がスタート 消防と連携、足元重点に

今年4月に発足した自主防災会の全体初会合が4月20日、西消防署の太田主幹を招いて志津南市民センターで開かれました。会合には自治連防災担当理事、

各町防災会会長、防災部長が出席。地域の防災活動をどのように進めていけばよいか、太田主幹の話をまじえ意見交換が行われました。太田主幹は「西消防署では当該地域の自主防災活動に対し、5

広報委が初会合

自治連の組織改革に伴い、新たに発足した広報委員会の初会合が4月19日、市民センターで開かれました。同委員会には「志津南ニュース、ホームページ「志津南」(通称若草ネット)の運営管理を一体化し、広報活動の有機性を高め



広報委員会の初会合

名体制で支援させてもらうので連携して取り組んでいきたい」と前置きした上で、地震災害で生死を分けるのは発生直後の10秒間。家具の転倒、落下物の防止が命を守る。災害が広域にわたる場合、行政による救援には時間がかかる。個人で3日分程度の水や食料などを確保しておくことが有効、などと活動のポイントを指摘しました。これに対し各委員からはこ

この日の委員会には各種団体から推薦された広報委員、若草ネット作業部会長ら8人が出席、三役を選出するとともに、今後の活動方針などを確認しました。

地域ではどの程度の地震が想定され、どの程度の被害が予想されるのか、どんな備えをしたらいいのか分からない。当地域は阪神大震災の時でもそれほど感じなくて、比較的安心していいのではないかと、防災面の備えも実感として受け止めにくいのではないかと、消火栓のホース等も高齢者が容易に扱えるものにしていくことも必要ではないかと、各町内単独でなく地域が一

体になって取り組む方が、実情に合うのではないかと、などの意見が出ました。その結果、緊急時に機能できる防災会にするため、志津南地区自主防災連絡会を設け、各町の自主防災会が連携して活動することになりました。いざと言う時に役立つ組織になる様形にとられず地道な活動を考えています。

各種団体の代表者名簿

町並み保存委員会	星野 眞直
社会福祉協議会	上田 恒章
体育振興会	原 真理
人権教育推進協議会	小川 弘
青少年育成区民会議	今大路清子
子ども会	谷口 賢
老人クラブ連合会	海部 三徳
民生・児童委員協議会	林 茂
健康推進員連絡協議会	喜田 久子
少年補導委員	中地 耕一
交通安全会	上城戸則夫
草津・栗東交通安全協会	妹尾 志郎
地域安全連絡協議会	小野 栄祐
広報委員会	津田 英二

20年度各種団体代表決まる
志津南地区の14団体の平成20年度代表者がこのほど正式

に決まりました。代表者氏名は別表の通りです。

- 新役員は次の通りです。
- 委員長 津田 英二
 - 副委員長 和田 基
 - 会計 林 茂
 - 【若草ネット作業部会】
 - 部会長 森 洋二郎
 - 副部会長 妹尾 志郎

社協、事業計画を決める

上田会長ら新執行部を選出

志津南地区社会福祉協議会は5月11日、志津南市民センター（公民館）で平成20年度総会を開き、上田恒章会長ら新執行部を選出するとともに、前年度に引き続き「福祉の土壌づくり」「活動の担い手づくり」「個別援助活動」を柱に活動していくことを申し合わせました。事業計画の骨子、新役員は別項の通



20年度総会（市民センター）

歳入の部	決算金額
繰越金	272,721
会費	450,500
草津市社協補助金	1,078,930
自治連助成金	150,000
雑収入	106,945
合計	2,059,096

歳出の部	決算金額
市社協分担金	135,150
草津市社協補助金事業	1,101,387
高齢者仲間づくり事業	30,000
高齢者健康維持事業	50,000
子どもと高齢者のふれあい事業	85,000
子育て支援事業	95,000
備品ほか	8,400
自治連合会助成金	121,683
ボランティア活動	49,812
予備費	25,857
合計	1,702,289
次期繰越金	356,807

まり住民の皆さんに地域福祉を進めることは重要だと理解し、活動に参加してもらっています。さらに各町福祉部長さんと班長さんには社会福祉協議会の福祉担当協力員として住民との接点をより強固にし、活動を支援していただかねばなりません。当社協は数年前からボランティア活動を推進してきました。今年度も引き続き、これらボランティア活動を重視、従来の環境美化（社会奉仕）、交通安全、花ボランティアの3つに加え、一昨年から取り組んでいる「緑の手入れボランティア」をさらに充実していきます。

今年度も引き続き「みんなが育む地域福祉・人にやさしい福祉のまち」という地域福祉計画を策定しました。志津南社協では、同計画に添って先にあげた3つを重点課題として、自治連、諸団体と連携して取り組んでいく考えです。「みんなで支える福祉の志津南」を達成するためには、まず住民の福祉意識醸成と活動のネットワークづくりを進めることが必要です。一昨年から進めている、民生・児童委員、老人クラブ連合会など各種団体、住民ボランティア、NPOの皆さんの協力を得ながら、誰もが「優しいと感じる町」を築き上げるための基礎づくりに取り組みする必要があります。つ

これらの活動は「地域の住民が支え助け合う風土づくり」の生きた例として今後も拡充していく方針です。また一昨年から実施している福祉懇談会についても引き続き開催、住民の皆さんにとともに考え解決する場として活用していく考えです。

社協事業計画（骨子）

- ・福祉の土壌づくり
- ・福祉講座、福祉懇談会などの開催と広報誌の発行
- ・活動の担い手づくり
- ・ボランティア部の充実と各町福祉協力員の育成
- ・個別援助活動の推進
- ・高齢者ほのぼのサークル活動の活発化
- ・ふれあいサロン活動

て活用していく考えです。

- ・高齢者の仲間作り・生き甲斐づくりの支援
- ・子育て支援活動
- ・育児に関する保護者の集いなど
- ・高齢者健康維持活動
- ・健康ウォーキング、グラウンドゴルフやスポーツ大会
- ・ボランティア部活動
- ・環境美化（社会奉仕）、交通安全、花ボランティア、緑ボランティアの継続

平和記念講演会

平成20年度役員

- 会長（事務局長兼務） 上田 恒章
- 副会長 望月 公人
- 同 林 茂
- 会計 村井由美子
- 福祉部会長 佐藤けいこ
- ボランティア部会長 小牧 義彦

子ども会が田植え

泥まみれになり奮闘

快晴にめぐまれたGW最終日の5月6日、志津南地区子ども会の小学1年生から6年生までの46人が、学校近くの田んぼで田植えを体験しました。子ども会としては初めての試みで、田植えしたのは岡本町



どろんこになって田植え

の農家、山元甚兵衛さんから借りた300平方メートルの田んぼ。田植えの前に山元さんから苗の植え方を聞いた子どもたちは素足で田んぼの中に入りました。初めてとあって「きゃー！気持ち悪い」などと興奮気味。中には足をとられてこけて泥だらけになる子も見受けられました。

低学年と高学年が横一列に向かい合って植えていきましたが、真つすぐに苗を植えていくのが難しかったようです。でも山元さんは「初めてにしては上出来」と合格点。子どもたちは泥まみれになりながらも「初めてやったけど楽しかった」と満足そう

苗を植えた田んぼは農家の方に管理してもらい穂が実る秋には稲刈り体験を行うことになっています。

（龍大取材班 平山義準）

新入生歓迎パーティー

子ども会は4月26日、今年小学校に上がった19人を招いて歓迎会を市民センターで行いました。歓迎会には上級生43人も出席、新一年生を一人ずつ紹介したあと、白組と赤組に分かれて缶積みゲームやボールリレーなどを楽しみました。この模様は写真ポスターにして市民センターに掲示していますのでご覧下さい。

（子ども会会長 谷口 賢）



- 5月17日(土) 子ども会総会 9:00~12:00
ふれあい夏まつり実行委員会 10:00~12:00
 - 5月22日(木) 子育てサロン 9:30~12:30
 - 5月24日(土) わんぱくプラザ『中部国際空港セントレアへ行こう』 9:00~16:00
 - 5月28日(水) やすらぎ学級「裁判員制度」 13:30~17:00
 - 6月6日(金) 定例健康相談 10:00~12:00
市健康推進課
ふれあい昼食会 12:00~13:00
ボランティア泉
 - 6月7日(土) わんぱくプラザ『ほたるを見に行こう』(伯母川) 18:00~20:00
 - 6月18日(水) 人権センター『男の料理教室』 10:00~14:00
- 若寿会
・健康ウォーキング
毎月第1・第3土曜日
・奉仕活動
第4土曜日
いずれも8:45 若草中央公園集合
- 地域サロン
懐メロを歌う会
毎月第2・第4火曜日
10:00~11:30 市民センター
- 印の会場は志津南市民センター(公民館)です。

記念写真に収まる参加者



若葉の湖西路を満喫 ふれあいバスツアーの38人

ボランティアグループ「泉」は4月25日、高齢者を対象とした「ふれあいバスツアー」を実施。まばゆいばかりの光の中、参加者38人のにこやかな笑顔とともに春の湖西路に向かいま

した。
今回は比良連峰の裾野の安曇川、マキノへ。可愛い模様のステッキ片手、帽子、カメラを手にとなかなかお洒落な皆さんは久しぶりの再会に車中はお隣同士話も弾みます。琵琶湖大橋を渡り、湖西道路から見下ろす琵琶湖は青く澄み、はるか対岸の近江富士を望みます。
車窓の景色を楽しむうち、バスは日本最古と伝えられる白鬚神社に到着。その昔、湖上交通の盛んな頃、船での参拝の目印にもなったという湖中の大鳥居が有名で、紫式部の歌碑もあったとか。

それぞれ神頼みもすませ、バスはマキノ高原へ。2キロも続くやわらかな新緑のメタセコイアのトンネルをバスはゆっくり通り抜けましたが、その美しさに期せずして歓声が上がりました。昼食はマキノプリンスホテル。全面ガラスごしの大パノラマは額縁絵のようでした。湖上遙か

受講生募集

志津南市民センター(公民館)が次の3講座の受講生を募集しています。希望者は受講料を添えて同センターへお申し込み下さい(ただし、市内在住、在勤の方)。
申し込み多数の場合は抽選とします。
E.T講座

に西国三十番札所竹生島も望めます。延々と続く白砂青松の浜辺、穏やかな湖面を眺めながら湖魚料理を味わいました。帰途は道の駅「藤樹の里あどがわ」でお買い物。特産物のお土産を両手に快適なバスの旅を終えました。
(ボランティアグループ泉)

「一からはじめるエクセル講座」。表計算ソフトのエクセルで文書を作成する方法を学びます。作成する文書は名簿や報告書を予定しています。初めての方も歓迎。
日時 6月2日(月)、3日(火)、4日(水)
いずれも13時~16時
対象 文字入力のできる方
定員 10人
受講料 900円(3日間)

締切 5月24日(土)
家庭教育支援講座
健康推進員の指導による食育講座「親子(朝ごはん)」の料理教室。
日時 6月28日(土) 10時~14時
対象 小学生とその保護者(祖父母も可)

「養文化講座「古今東西」今年のテーマは「近江を愉しむ」で、近江の文化、伝統工芸産業、歴史を学ぶ4回シリーズの講座です。
第1回 7月16日(水) 9時~12時30分 幻の都「紫雲宮跡」と陶芸工房訪問(信楽町)
第2回 9月17日(水) 10時30分~12時 湖北のむかしばなし(志津南市民センター)
第3回 10月15日(水) 9時~15時 大名庭園「楽々玄宮園」と仏壇工芸製造見学(彦根市)

第4回 11月12日(水) 10時~14時 源氏夢回廊と瀬田川遊覧(大津市)
定員 17名
締切 5月31日(土)
受講料 1200円(4回)
「男の料理教室」募集
料理は自立へのバスポートです。基礎から学んで、自宅でおいしい料理を作ってみませんか。
日時 6月18日(水) 10時~14時
場所 志津南市民センター
対象 市内在住、在勤か通学している人(女性も可)
定員 20人(先着順)
締切 6月10日(火)
参加費 600円程度
(材料費)
持ち物 エプロン、三角巾、食器用ふきん、手拭き
その他 無料託児(2~6歳児) 締切日までに要予約
申込み 電話・FAX・メールで草津市人権センター男女共同参画担当まで
電話(565) 1550
FAX(563) 7070
メール jinkencen@city.kusatsu.lg.jp

「男の料理教室」募集
料理は自立へのバスポートです。基礎から学んで、自宅でおいしい料理を作ってみませんか。
日時 6月18日(水) 10時~14時
場所 志津南市民センター
対象 市内在住、在勤か通学している人(女性も可)
定員 20人(先着順)
締切 6月10日(火)
参加費 600円程度
(材料費)
持ち物 エプロン、三角巾、食器用ふきん、手拭き
その他 無料託児(2~6歳児) 締切日までに要予約
申込み 電話・FAX・メールで草津市人権センター男女共同参画担当まで
電話(565) 1550
FAX(563) 7070
メール jinkencen@city.kusatsu.lg.jp



4月のある土曜日の午後、志津南公民館ホールの扉を開けると、フルトも加わったビゼー「アルルの女」のギター合奏が聞こえてきた。秋に栗東芸術文化会館「さくら」で行う定期演奏会に向けた合同練習である。

同アンサンブルのコンサートマスター一井伸介さんに代わってこの日タクトを振っていた高坂勝さんから弱い部分に「もっと強く」とダメ出しが出て繰り返し。譜面を確認しながら弦をかき鳴らす会員の顔が上気して



5人と翌年、志津南小バイがデビュー演奏。どんな曲を演奏したのか、覚えていないのは「ラ・クナルシータ」だけ、と村井さん。その後、近隣市町のギター好きが人づてに聞いて加わるようになって

て会員が徐々に増え、平成10年の志津南公民館完成後はここを本拠としている。この間、大津、甲西のギターアンサンブルと合同で定期コンサートを4年間続けた。平成7年の阪神大震災時には秋にチャリティコンサートを開催、義援金を贈った。奈良のギターフェスティバルにも4回あまり出演した。

湖南ギターアンサンブル

おもしろい楽しい

現在の毎年秋の「さくら」での「ささなみコンサート」をメインに、草津市民音楽祭（しが県民芸術創造館）、地元草津のミュージックソン（12月）に力を注いでいる。

集まった仲間

「さくら」の定期演奏会では「お客様に喜んでもらう」をコンセプトに聴きたい曲や感想をアンケートにとり次回の参考にしている。カーテンコールもしばしばで固定ファンが多い。

「音楽好きが集まって合奏する、これが実現してうれしい」と村井さん。

古参会員の小島信之さん「草津市」は「やめる人が少なく長続きしているのは驚き」とメンバーの息の長さを評価する。

昨年入会の内藤悟さん「栗東市」は「苦しいけれど、おもしろい楽しい」とギターアンサンブルの魅力を語る。

ベテランから新人まで団塊の世代を中心とした男性16人、女性9人のアンサンブルは音楽を通して充実した時間を共有している。

代表 村井教夫
会員 25人（うち女性9人）
活動 定期演奏会年3回
合同練習毎土曜日（第5土曜日除く）
午後1時半～同5時
会費 月額千円
連絡先 村井代表
（564）6893

今年号から地域で活動するさまざまなおもしろいサークルを取り上げる「サークル万歳」を新しくスタートさせます。

以前にもサークルを紹介した連載企画がありましたが、新しいサークルが増えていることもあり、今回は視点を変え、当事者でなく第三者から見た活動ぶりを紹介していきたいと思えます。

保育園で交通安全教室

草津・栗東交通安全協会志津南支部は4月25日、アヤ八自動車教習所の協力を得て若草くみ保育園の交通安全教室を開催しました。

同教習所の指導員6人が園児約70人を対象に、園庭に模擬の信号機と歩道を設置。横断歩道の正しい渡り方や信号の見方

などを指導しました。園児たちは指導に従って信号を確認しながら横断歩道を渡るなど、交通安全の基本を学びました。かわいいクマさんのぬいぐるみを着た指導員さんは、園児たちの気を引きながら、楽しく横断歩道の正しい渡り方などを分かりやすくお話ししていました。みなさんも、日頃から安全運転に心がけてください。



今は、新じゃが、新たまねぎがおいしい時期ですね スーパーに行けば、季節

好きなものなら、一生懸命世話をすし、早く食べたいと大切にわいがる。すると野菜もその愛情を受けて、いきいき元気に育ちます。

関係なく、ほしい野菜が手に入ります。でも、これってなんか違和感ありません？

特に子供と一緒に作るのはいいですよ。自分で作った野菜の料理は、残さず食べ、嫌いだつた野菜も食べるようになるからおもしろいですね。

一坪家庭菜園

16年前から、車で5分の畑で野菜を作り始めました。畑は無料で使わせてもらった上、野菜作りの達人にアドバイスも頂ける、願ったり叶ったり。

結果（収穫）がすぐにほしい私には、本で勉強したり、試行錯誤の遠回りは無理。たった一坪ですが、目が行き届き、管理も楽です。その季節の食べたいものだけを選んで寄せ植えしています。

家族で手塩にかけたからおいしく食べられます。自分で育てるとスーパーの形のそろった野菜を作るのが、いかに大変かよくわかります。プロのすこさがわかり、作った人への感謝もうまれます。

これからは春野菜です。あなたも挑戦してみませんか？

（若草7丁目 〇）